

川崎市議会議員

# 本間 賢次郎

市政レポート No. 3 (平成 30 年 3 月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17  
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

## ごあいさつ



2月13日から平成30年第1回定例会が開会し、新年度予算案に対する審議がスタートしました。初日に市長の施政方針演説が行われ、各議案の提出を受けて、26日・27日の二日間に渡って行った各会派からの代表質問を皮切りに一気に議論が加速していきます。そして、3月5日から8日までの四日間は「予算審査特別委員会」において、各議員が質問を行います。会期は3月16日までの予定です。

## 平成30年度予算案のポイント

四年連続となる過去最大規模の7,366億円の一般会計をはじめ、特別会計、企業会計の予算案、議案が市議会に提出されました。全予算規模は1兆4456億21万円です。市税収は3,479億円と五年連続で過去最大。県費負担教職員の市費移管に伴う税源移譲分(353億円)を除いたとしても前年比54億円の増です。

福祉の向上や子育て支援・教育など今の川崎にとって喫緊の課題に対する予算、「臨海部ビジョン」などの産業活性化に向けた成長戦略が大きな柱となり、市長は「成長と成熟の調和による持続可能なまちの実現」を掲げました。いずれも重要なテーマですが、厳しい財政状況での予算編成は、子どもたちの将来にツケを回すことになり、自民党川崎市議団も代表質問を通じて財政面において厳しい質問を致しました。

私、**本間賢次郎**が今議会で取り上げるテーマは「地域の活性化」です。地元・川崎区は先月17日にJR川崎駅北改札・北口通路が完成し、供用開

始しました。京浜急行線との乗り換えに便利になったほか、駅構内の商業施設、いわゆる「エキナカ」も充実し、新たな人の流れが生まれました。そして、今後は京急川崎駅周辺の整備も進められます。一方で、「北口に重心が寄り過ぎていないか」とのお声もあります。さいか屋跡地問題、マルイ川崎店の閉店など JR 川崎駅南側は課題が立て続いています。そうした中で、いかに駅周辺に偏りなく全体的に賑わいを創出し、活気ある街づくりを進めるかがポイントになります。また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた観光事業の振興についても、市内外の方々が川崎の魅力に触れて頂けるように取り組んでいかなければなりません。そのためにも、地域にある観光資源を効果的に PR することで川崎を訪れて頂く機会を増やし、経済の活性化も促してまいりたいと考えます。

## 防災・減災の新たな拠点「防災空地」が完成！

2月10日、川崎区小田3丁目に神奈川県内初の「防災空地」が誕生し、完成イベントが開催されました。

「防災空地」とは、空地を設けることで、災害時に発生した火災の延焼抑制や避難、消防活動の場としての機能が期待されています。また、平時は町内会の方々が管理



され、地域の方々の憩いの場としての利用も可能です。また、空き家対策としても注目されています。小田地区は木造建物が密集しており、国からも火災延焼の危険度が高いと指摘され、川崎市としても不燃化重点対策地区に指定し、「老朽建築物の解体除却工事」には最大100万円の補助金、「耐火性能強化工事」には最大200万円の補助金、そして「防災空地創出」には固定資産税等の非課税という支援を行っています。今後も地域の安心と安全の創出に向けて、このような市の取り組みを広めるとともに、行政に対しては有効に活用できる「防災空地」の整備を促してまいります。